

後援会副会長挨拶

グローバル人材のすゝめ

後援会副会長の中野でございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動の急激な停滞や社会活動の大きな変更を余儀なくされました。本学においても授業開始の遅れや学園祭をはじめ各種イベントの中止・自粛等により学生の皆様は将来に不安を感じたことと思いますが、大学関係者の方々のご尽力により少しずつ日常を取り戻してきました。

今年はwithコロナが定着する中、東京オリンピック・パラリンピックが予定されており、日本が国際社会で存在感を示すビッグチャンスでもあります。私たちはafterコロナを見据えた新たな社会を形成する必要があります。

また、近年は国境のボーダレス化が急速に進み、あらゆる地域でイノベーションの進行と技術革新により生産性が著しく改善されています。日本の企業は縮小する国内市場から海外市場へ新たな価値を求めており、グローバル人材の確保が急務となっています。幸い皆様が通う東京都市大学は「アクションプラン2030」の中でグローバル人材の育成を掲げており、充実した海外留学制度や海外インターンシップ制度もありグローバル人材になり得る環境が整っています。医用工学科にお世話になっております私の次女も海外研修の制度をフルに活用させていただきました。TAP (Tokyo City University Austraria Program) やフィリピンでのインターンシップを通じて自覚が芽生え、また異文化や多様性を十分に吸収できたのではないかと感じています。将来は東京都市大学OGとして誇りを持って社会へ羽ばたいてほしいと願っています。

最後に、後援会は保護者の皆様の代表として大学の教職員の方々と協力し学生の生活環境の改善に取り組んでいます。保護者の皆様には引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。



東京都市大学 後援会 副会長

中野 隆